

# みんなのけんこう

社団法人長野県医師会 長野市若里7丁目1番5号 TEL.026-226-3191  
<http://www.nagano.med.or.jp/>

vol.70

平成23年11月発行

## 子宮頸がんは、 ワクチンと定期検診で 予防可能ながんです

今、20～30歳代の若い女性の子宮頸がんが急増しています。子宮頸がんは、ワクチンの接種と定期検診によって、予防と早期発見・治療が可能です。

娘が10歳以上になったらワクチンを、私は定期検診を

予防ワクチンを早期に接種しよう

継続的に定期検診を受けましょう

### 「子宮頸がん」ってどんな病気？

子宮頸がんはハイリスク型のHPV(ヒトパピローマウイルス)に長い間、感染し続けることによって引き起こされます。20～30歳代の女性が子宮頸がんを発症すると、ごく初期のがんを除き、子宮や卵巣など妊娠に必要な器官をすべて摘出する必要があるため、妊娠や出産ができなくなります。さらに、排尿障害などの後遺症やQOL(生活の質)の低下に悩まされることになってしまいます。

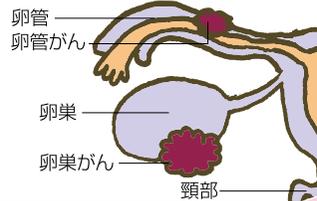
# 子宮頸がんをもっと知ろう

## HPVの感染は自然なこと

子宮頸がんは、女性なら誰でもかかる可能性があります。その原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)は、性交渉の経験がある女性ならば感染する可能性がある、ごくごくありふれたウイルスです。ただし、子宮頸がんを引き起こす可能性があるHPVは、100種類以上ある型のうち、ハイリスク型HPVと呼ばれる15種類ほど。ハイリスク型HPVの中でも、16型と18型が子宮頸がん発症原因の約65%を占めています。

## 感染の持続化が子宮頸がんにつながる

ハイリスク型HPVに感染しても自覚症状はなく、すぐになんかを発症することはありません。ほとんどの感染は数年で自然に治ります。しかし、長期間にわたって感染が続く場合、その状態が子宮頸部にがんを発生させることがあります。



子宮頸がん

原因: ハイリスク型HPVの持続感染  
好発年齢: 30~40歳  
初期症状: 接触出血(性交渉時)  
組織型: 扁平上皮がん75%、腺がん20%、その他5%

■ハイリスク型HPVに感染すると…



正常細胞



ハイリスク型HPVに感染

# 子宮頸がんは、3回のワクチンの接種による予定定期検診による早期発見・治療が可能な唯一のがんです

## ワクチン

### ワクチンの接種が、子宮頸がんの原因となるHPV感染リスクを抑えます

ワクチンAは子宮頸がん、ワクチンBは子宮頸がんと尖圭コンジローマの発生原因となるHPV感染を予防します。

#### ワクチンA

ハイリスク型HPV

16型

18型

#### ワクチンB

ハイリスク型HPV ローリスク型HPV

16型

6型

18型

11型

※尖圭コンジローマは、男性器、女性器にイボを作る病気です。妊婦の産道や外陰部にこの病気が発生すると、ごくまれに赤ちゃんの喉に感染して咽頭乳頭腫という病気を引き起こすことがあります。

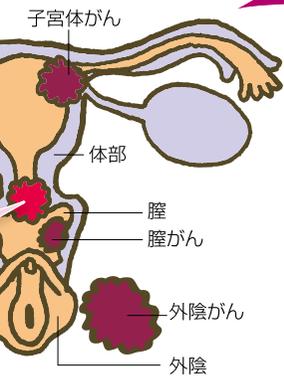
※ワクチンは、すでにHPVに感染している場合や、対象外の型のHPVには予防効果はありません。

※ワクチンの接種は10歳からです。初交前に接種することで、大きな予防効果が期待できます。

※定期検診で対象となる型のHPVに感染していないことがわかれば、性交渉を経験している女性であっても、ワクチンによるHPV感染の予防が期待できます。

※ワクチンAとBは、接種日程に違いがあるので、留意してください。





## 子宮頸がんの予防には、正しい知識と危機意識を持つことが大切

子宮頸がんは間違ったイメージや情報を持たれやすく、「予防の第一歩は啓発」と言われるほど。子宮頸がんを予防するためには、保護者や学校関係者なども正しい知識と危機意識を持つことが大切です。

### 保護者

ワクチンの接種について、子どもからの質問に答えられる程度の知識を持ち、子どもたちに「がん予防」の重要性を教えてあげてください。

### 学校関係者

子どもたちに対する子宮頸がん予防の啓発は、性教育ではなく、「健康教育」として教えてあげることが重要です。

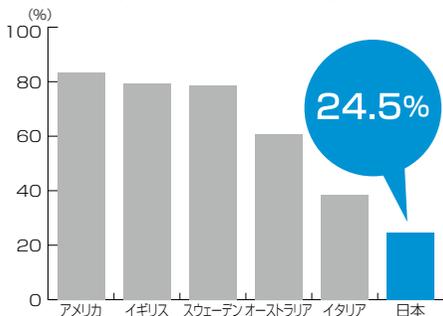
# 防と

## 定期検診

### 定期検診ががんの早期発見・治療につながる

予防ワクチンは、対象の型のHPV感染を防ぐものであって、子宮頸がんの発症を100%防ぐものではありません。そのため、定期的に子宮頸がん検診を受けることで、ワクチンでは予防できない型のHPVの感染の有無がわかり、がんの早期発見、早期治療につながります。ただ残念なことに、日本の受診率は、欧米に比べ極めて低い状況です。

世界各国の子宮頸がんの定期検診受診率



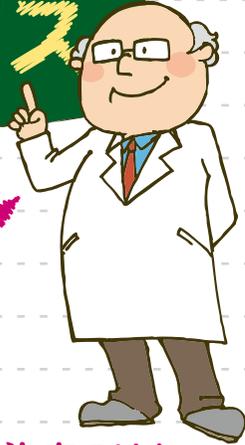
### 無料クーポンなどの活用で賢く受診

現在、日本では、政府が20、25、30、35、40歳の女性を対象に、子宮頸がん検診の無料クーポンを毎年配付しています。また、自治体や職場でも、子宮頸がん検診が健康診断に取り入れられています。自費による検診も可能ですが、負担を減らすためにも無料クーポンや自治体の検診を活用してみてもいいでしょうか。



# 知っておきたい トピックス

## 子宮頸がん ポイント



### ！子宮頸がんは感染症ではない

HPVは、インフルエンザウイルスなどと同じごくありふれたウイルスです。性交渉を経験している人なら、一度はHPVに感染した可能性があります。

### ！HPVの感染を防ぐには？

HPVは性器や会陰部、肛門など広い範囲に存在します。性交渉だけでなく、手や指を介して感染することもあるので、完全に感染を予防することはできません。

### ！妊娠中のワクチン接種

妊娠中のワクチン接種については、安全性と有効性が確認されていません。妊娠がわかった時点で、主治医と相談し、接種のタイミングを決めてください。

### ！性交渉の多い女性が、 子宮頸がんになりやすい？

HPVは、性交渉の回数に関わらず、誰でも感染する可能性があります。感染しても、ほとんどが自然に治りますが、感染が続くと一部の細胞ががん細胞に変わることがあります。したがって、「性交渉の多い女性が、子宮頸がんになりやすい」というのは、誤った情報です。

### ！HPVが原因の病気は 子宮頸がんだけではない

HPVは、その型によってさまざまな病気を引き起こすことがわかっています。例えば、6型、11型は、尖圭コンジローマという陰部にイボができる病気を発症させます。また、HPVは外陰がんや膣がん、陰茎がんなどの原因になることがあります。

### ！ワクチンの効果持続期間

日本では、2009年から使用され始めたばかりですが、製薬メーカーは、ワクチンの効果は20年は続くとしています。海外では、接種後7～8年経っても、HPVに対する抗体が確認されています。

監修:上田市医師会 宮下尚夫



キッセイ通販がお届けします

たんぱく調整冷凍おかずセット  
(調理済)

# 女の食卓

K3セット  
新発売

K3 6食セット 5,544円(税込み)

たんぱく質だけでなく、ナトリウム・カリウム・リンを調整した、温めるだけで食べられる冷凍おかずセットです **K1・K2も好評発売中**



**キッセイ薬品工業株式会社**  
ヘルスケア事業部

ご注文

〒399-0711 長野県塩尻市片丘9637番地6  
通信販売受注専用フリーダイヤル ☎ **0120-588-117**  
ホームページ <http://healthcare.kissei.co.jp/>